

聖書箇所:マタイの福音書27章33-44節
「十字架-二人の強盗と共に-」

【1】 十字架につけられたイエス

- ・ 「おまえはキリストではないか。自分とおれたちを救え」(ルカ 23:39)
— 絶望の中に捨て置かれた者の叫び
- ・ 身を覆う衣を剥ぎ取り、苦痛を与え、人の尊厳を傷つける十字架
→ 取り繕うことのできない本性を暴露させる
- ・ 十字架につけられたイエス
— 「没薬を混ぜたぶどう酒」(マルコ 15:23)を飲まない選択
— 二人の強盗が両隣にいた：犯罪人として
— ユダヤ人の王として

【2】 もしお前が神の子なら…

- ・ 共通した罵りの言葉「自分を救え」
— 通りすがりの人、宗教指導者、十字架上の二人の強盗さえからも
- ・ 十字架上のイエス
— 神へのとりなしの祈り「父よ、彼らをお赦しください…」(ルカ 23:34)
— 家族の今後を案じた言葉(参照ヨハネ 19:25-27)
- ・ 人々の期待する救い主像
— 「自分を救え」▶ 十字架につけられるような無力な者ではない
— 「十字架から降りて来い」▶ 神の力で目の前の危機を突破できる者

【3】 十字架-二人の強盗と共に-

- ・ 犯罪人の一人に起きた変化
— 期待する救い主像から目の前のイエスに目を向けるように(ルカ 23:41)
— 生まれた願い「イエス様。…私を思い出してください」(ルカ 23:42)
— 痛み、悲しみ、絶望の中で、共にいてくださるイエスを知る者へ

▷ 私たちが、今日抱えている痛みや悲しみ、押しつぶされそうな心の重荷、誰にも理解してもらえないと感じる深い孤独。十字架のイエスは、私たちの肉体の痛みを知り、深い悲しみに向き合い、孤独を経験してくださいました。あなたも十字架のイエスを救い主として心にお迎えしませんか？

「しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死なれたことによって、神は私たちに対するご自分の愛を明らかにしておられます。」(ローマ人への手紙 5 章 8 節)

